

安全衛生スローガン

『 時間と気持ちに持つ余裕 そこから生まれる無災害 』

※社員応募…新規営業部 田村 英之

■ 事故防止のための安全方針 ■

当社は、輸送における安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、輸送の安全性ならびに品質の向上に向け、全従業員に対し意識の徹底をしていきます。運輸安全マネジメントの確実な実施により、絶えず輸送の安全品質の向上を図るとともに、関係法令の遵守に努め、物流企業として社会的責任を果たします。

■ 社内への周知方法 ■

- 1)安全方針の各営業所内掲示
- 2)ホームページ上での掲載

■ 安全方針に基づく目標 ■

- 1)交差点内の事故ゼロ
- 2)フォークリフト作業中による構内事故ゼロ

■ 安全確保に関する投資額 ■

- 1)車両購入時のデジタルタコグラフ導入……………3台 450,000円
- 2)事故防止啓発のためのデジタルサイネージ導入……………3台 870,000円

■ 安全に関する目標達成状況 ■

(2017年1月1日～2017年12月31日)

	発生件数	目標件数	目標達成状況	前年比較
重大事故	0件	0件	達成	
人身事故	3件	0件	未達成	+1件
労働災害	3件	0件	未達成	-1件
物損事故	19件	10件	未達成	+1件

■ 自動車事故報告規則第2条に規定する事故 ■

2017年1月1日～2017年12月31日……………0件

■ 事故に関する情報 ■

2017年1月1日～2017年12月31日……………重大事故発生件数 0件
(内訳) 死傷0件 衝突0件 転落0件 その他0件

■ 輸送の安全に関する計画 ■

- 1)事故防止のための社内研修会の開催……………3回 (3月、4月、8月)
- 2)運転者に対する安全に関する教育……………12回 (別紙年間教育実施計画のとおり)
- 3)最繁忙期における無事故キャンペーン……………2回 (1月、12月)

2018年 乗務員教育実施計画

実施月	指導項目
1月	トラックを運転する心構え
	プロドライバーとしての自覚を促します。
2月	トラック運行の安全を確保するために遵守すべき基本的事項
	日常点検の項目の振り返りをおこないます。
3月	トラックの構造上の特性
	事故事例を取り上げ、類似事故防止のためのディスカッションをおこないます。
4月	貨物の正しい積載方法
	はい作業におけるポイントを確認します。
5月	過積載の危険性
	実車と空車で制動距離のちがいに重点を置きます。
6月	危険物を運搬する場合に留意すべき事項
	非常時の対策について学習します。
7月	適切な運行の経路及び当該経路における道路及び交通の状況
	運行経路を決める際のポイントを抑えます。
8月	危険の予測及び回避並びに緊急時における対処方法
	KYTならびにその実例を基に事故処理の対処方法についてディスカッションします。
9月	運転者の運転特性に応じた安全運転
	性格診断に基づき、運転にどのような影響を及ぼすのか学びます。
10月	交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因とこれらへの対処方法
	運転者の心身の状態がいかに事故と関わるか学びます。
11月	健康管理の重要性
	生活習慣病についておさらいします。
12月	運転支援装置を備えるトラックの適切な運転方法
	運転支援装置による事故事例についてディスカッションをおこないます。

■その他

- 1)3か月に一度、実施した教育内容の範囲について振り返りテストをおこないます。(3月、6月、9月、12月)
- 2)毎月の指導時にヒヤリハットを収集し、毎月末に全拠点で開示します。
- 3)3月と8月には座学による安全研修会、4月には実演によるテクニカル研修会を開催します。